

R/R EVENT
Report

徳島絶版バイク ミーティング 2018



愛好家による愛好家のためのイベント



上段は今回もステージM/Cを務めた、和田ボリスさんと大塚亜美さん。すっかりミーティングの「顔」のおふたり。下段のように当日は、マーベラスエンジニアリング(上・徳島)やZレーシングパーツ(右上・愛媛)、アゲイン(左下・大阪)、PMC(右下・路島)など、イベント趣旨に共感したショップ&メーカーが出展した



もはや徳島絶版バイクミーティングの恒例コンテンツとなった、バイクスタントチームFINESTによるショータイム! ヨンフォアを自在に振り回す、先山孝彦さんは世界のエクストリーム競技会で活躍するライダーでもあるのだ

旧車を愛であい、楽しむ まさに好き者のための祭典

四国最大とっていいだろう、年1回の旧車愛好家のための絶版バイクミーティングが、今春も徳島・沖洲フェリーターミナルで開催。多くの来場者を集め賑わった。

Photo: 箱崎太輔 Report: 編集部

期日: 2018年4月29日

会場: 沖洲マリンターミナル駐車場

主催: BRC ☎088-622-0003 www.brcinc.co.jp

着実に絶版車ファン増加 一方で悩みもアリ?!

今春で5回目を迎える当イベント。当初はいわゆる旧車会系バイクもいたが、主催のBRC・渡辺美規代表の言う「何より旧車の容姿が好き、カッコいいって仲間で集まって、互いのバイクを愛でよう。そんな愛好家のミーティングです」との趣旨が浸透したか、今回はそんなバイクは見当たらず。それは「現行車も少なくなってきたな」(同)と言うほど。一方で、バイク&4輪を合わせた来場者数は前回は100台上回る800台へと伸びているから、旧車好きのためのイベントの立ち位置は、確実に浸透しているのだろう。

一方で渡辺さんが危惧するのは、ライダー人口の減少とともに、そうした「健全(?)」な旧車趣味人が減少してしまうこと。「ただでさえ、若者がバイクに乗らなくなった昨今ですから、僕らみたいな世代が離れたら、絶版車を楽しむ人もいなくなってしまうのでは。それを少しでも阻止するために、若い人にも絶版車の魅力に気付いてもらいたい。これからそんな気持ちでミーティングを続けていくつもり。まあ、地道にやります(笑)」

地元・徳島や四国内はもちろん、関西・中国・九州地区からも絶版車ファンが集まるこのイベント、絶やされることのないよう、次春もさらなる盛り上がり期待!



遠くは東京や北九州からも、好きモノ、来場

来場者駐車場は絶版バイク群で埋め尽くされた。ご覧の通り排気量、2スト&4ストの区別もナシ! 主催によれば遠くは足立ナンバーや北九州ナンバー (こちらは複数) 車も確認。イベントの吸引力は海を渡る?!



当時のCBナナハンには子供たちも憧れた?!

BRCのブース前に置かれた16インチ用自転車。渡辺代表が知り合いから譲けたもので、その名もアクト号。CB750を樹脂パーツで再現したデザインで、音も鳴る。「当時、Hondaのディーラーで買ってたらしい」(渡辺さん) という話が計明。左下の看板写真から、Little Fourのアメリカでも売られたことも分かる

キャブとインマニがエンジンの除電ポイント オカルトでもプラシーボでもない、まったく新しいチューニング

Smooth Drive System

対象は生産されている全内燃機関
故障知らず! 効果はほぼ永久! 廃車になるまで

スムーズドライブラインアップ

<http://ngc-japan.com/info/?p=112>

静電気の問題はセッティングでは決して解決できないことです!

静電気による各部の悪影響の解決法がスムーズドライブシステム。
吸気系にはインジェクターチューニングボルト、キャブレター車輻はインシュレータータイヤフラムゴムの帯電が大きいことが判明。VMキャブはインシュレーターバンドに、CVキャブはタイヤフラムキャップが先決。ガソリンの霧化を促進し霧化した混合気をスムーズに吸入。アイドリングの安定、アクセル微開時のコントロール性、吹け上りの過渡特性などが改善されます。
吸排気系の言葉通り、吸気対策が絶対に先決です!



インシュレーターバンドボルト
1本2,700円 (税込) 各種サイズあり



車体各部の回転、
摺動部分にも効果的

<http://ngc-japan.com>

株式会社NGCジャパン

〒243-0033 神奈川県厚木市温水2216-3 FAX専用 046-250-6900